⚠ 警 告

⑫鋸刃を取り付けたまま空運転をしないで下さい。
鋸刃が折れる恐れがあり大変危険です。

⑬切断中に被切断材が鋸刃を挟み込むような状況では使用しないで下さい。

⑭鋸刃は、指定された物以外は使用しないで下さい。

⑮周囲に騒音が漏れる恐れのある場合には、各条令に従い必要に応じて遮音板などを設置するなどして、騒音防止に努めて下さい。

⚠ 注 意

①切断後、切断面にはバリやマクレなどが生じることがありますので、直接触れないようにして下さい。けがをする恐れがあります。

②発電機や昇電圧装置などは使用しないで下さい。
不意に過大な電圧変化が起きることがあり、故障の原因となります。

③専用バイスのマグネット部分に衝撃を加えないで下さい。
マグネットが破損する恐れがあります。

④専用バイスのマグネット部分に携帯電話、時計、磁気カード、乗車券など磁気の影響を受けるものを近づけないで下さい。記憶内容が破壊される恐れがあります。

⑤専用バイスの取り付けは、被切断材に対して直角となるようにセットして下さい。

⑥切断作業後、切断面の仕上がり程度を確認して下さい。
必要に応じた後処理を施して下さい。

⑦本体のラベルや銘板は、はがしたり、汚さないように注意して下さい。
紛失したり、汚れて読めなくなった場合には、お買い求めの販売店にご相談下さい。

⑧鋸刃の切断対象範囲以上に太い管の切断はしないで下さい。
刃先端が管の内壁（内面）に当たり、鋸刃が折れる恐れがあります。

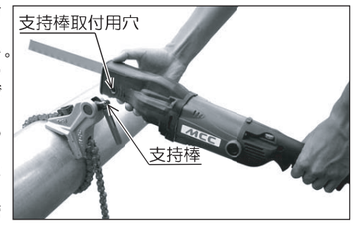
◆振動障害の防止

●１日の作業時間について
疲労が重なると注意力が低下し事故の原因となりますので、作業にはゆとりをもたせて下さい。１日の作業時間は、厚生労働省通達（チェーンソー以外の振動工具の取扱い業務に係る振動障害予防対策指針）により下記の時間をお守り下さい。
『１回の連続作業時間は１０分以内』『１日の作業時間は延べ４６分以内』
※上記の値は厚生労働省通達の算式及び本製品の「周波数補正振動加速度実行値の３軸合成値」をもとに算出しています。

●本製品の周波数補正振動値の３軸合成値及び本体質量
『数補正振動値の３軸合成値：１６．１m/s²』『本体質量：４．６kg』

●厚生労働省通達
１、１０m/s²より小さい場合は
１回の連続作業時間は１０分以内、１日の作業時間は２時間以内
２、１０m/s²より大きい場合は
１回の連続作業時間は１０分以内、１日の作業時間は次の式により算出した時間以内
T=２００÷（ａ×ａ）
※T：１日の最大作業時間（時間）※ａ：周波数補正振動加速度実行値の３軸合成値（m/s²）

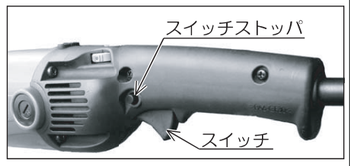
◆使用方法



①切断対象材に合った鋸刃をパワーソーに取付けて下さい。
②切断する管に専用バイスをセットして下さい。
③専用バイスの「支持棒」にパワーソー本体の「支持棒取付用穴」をあわせていっぱいまで差し込み取付けて下さい。
④専用バイスを少し緩め、鋸刃を切断位置にあわせて再び専用バイスを固定して下さい。
⑤パワーソーの差込プラグを電源コンセントに差し込んで下さい。
⑥ハンドルをしっかり持ち、鋸刃が切断する管に接してからスイッチを入れて（引いて）ゆっくりと切り込んで下さい。
⑦切断完了後、スイッチを切り差込プラグを電源コンセントから抜いて下さい。
⑧パワーソー本体を専用バイスから取り外して下さい。
⑨専用バイスを管から取り外して下さい。

●過負荷保護機能について
切断作業中に鋸刃を切断材に強く押し付けたり、鋸刃が加工物に挟まれたりするなどしてモータに異常負荷がかかった場合、過負荷保護機能が働きモータが停止します。負荷を取り除くと再びモータが動き切断作業が再開できます。

●スイッチストッパの使用方法
「スイッチ」を入れて（引いて）から「スイッチストッパ」を押すと、「スイッチ」から指を離しても入ったままになります。
スイッチを切る場合は、再びスイッチを引いてから指を離すとスイッチストッパが解除され、スイッチが切れます。



⚠ 警 告

①パワーソーと専用バイスの脱着作業は、パワーソーの差込プラグを電源コンセントから抜いた状態で行って下さい。不意に作動して事故やけがをする恐れがあります。

②差込プラグを電源コンセントに差し込む前にスイッチストッパが解除されていることを確認して下さい。不意に作動して事故やけがをする恐れがあります。

⚠ 注 意

①パワーソーと専用バイスの脱着の際は、パワーソーや専用バイスを落下させないで下さい。故障や破損の原因となるばかりでなく、事故やけがをする恐れがあります。

②専用バイスに装着されているマグネットは、鋼管へのセットを補助し作業しやすくするためのものです。専用バイスを使用して切断する場合は、専用バイスを必ずチェーンでしっかりとセットして下さい。

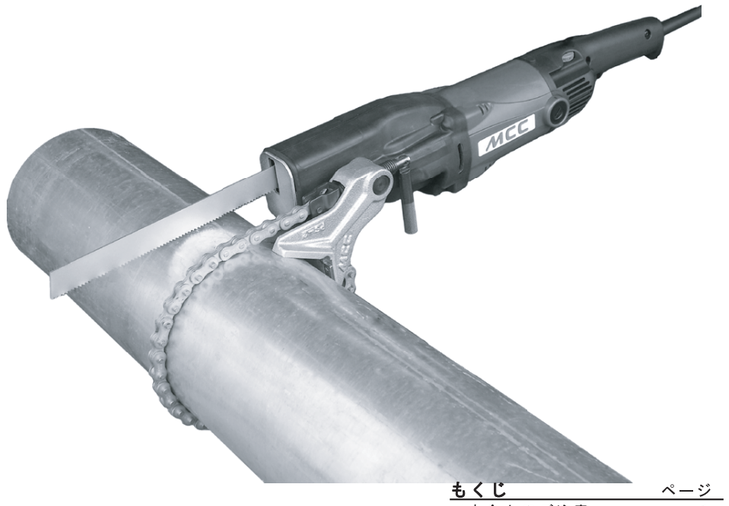
③専用バイスのマグネット部分に切断時の切粉などが付着する場合があります。
切粉などが付着したまま使用すると専用バイスが被切断材に対して直角にセットできない場合がありますので、ウエスなどで取り除いてから使用して下さい。

MCC　http://www.mcccorp.co.jp

パワーソー 200

品番：PS-200

取 扱 説 明 書



もくじ　ページ

■安全上のご注意・・・・・・・・・・・・１
■各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・４
■標準付属品・・・・・・・・・・・・・・・４
■別売品・・・・・・・・・・・・・・・・・４
■仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
■鋸刃と切断対象材・・・・・・・・・・５
■使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・６
◆使用方法・・・・・・・・・・・・・・・８
◆鋸刃の取り付け方法・・・１０
■保守・点検・・・・・・・・・・・・・１１
■保管・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

●このたびは、パワーソー ２００をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
●この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用下さい。
●この取扱説明書はご使用になる方がいつでも見ることができるよう大切に保管して下さい。

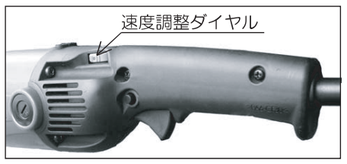
●専用バイスを使用しないで切断する場合
専用バイスが設置できない場合などは、手で持って切断します。
①パワーソーの差込プラグを電源コンセントに差し込んで下さい。
②しっかりと両手で持ち、鋸刃を切断対象材に押し当てて下さい。
鋸刃が切断対象材に接してからスイッチを入りにしてゆっくりと切り込んで下さい。
③切断完了後、スイッチを切り差込プラグを電源コンセントから抜いて下さい。

※専用バイスを使用せずに手で持って切断する場合は、安全に作業して頂くため別売品（４頁掲載）の「ＰＳ用ハンドルＰＳ１００－Ｈ（品番：PS-06061）」を使用して下さい。

⚠ 注 意

①手で持って切断する場合は、保護プレートを切断対象材に押し当てるようにしっかりと両手で持って切断して下さい。しっかり押し当てないで切断すると振動により故障や破損の原因となるばかりでなく、事故やけがをする恐れがあります。

●鋸刃の速度調整
パワーソー２００は鋸刃の速度を無段階に調整できる電子制御回路を内蔵し、「速度調整ダイヤル」を回すことにより鋸刃の速度が変えられます。
「速度調整ダイヤル」の目盛『６』が最高速、目盛『１』が最低速です。
軟鋼材の切断には最高速、ステンレス材の切断には最低速が適していますが、「速度調整ダイヤル」の目盛は目安として頂き、切断材料、作業条件にあった速度でご使用下さい。



●切り込み速度
切断時間を短くし、鋸刃の寿命を延ばすためには適切な切り込み速度で作業して下さい。
※無理な力を加えても切断時間は短くなりません。
ハンドルに約５kg（ステンレス鋼管は約２kg）の力を加えて下さい。

切断対象材	切断時間（1本目）	目盛
鋼管　50A	約　10秒	6
鋼管　100A	約　50秒	6
鋼管　150A	約　150秒	6
鋼管　200A	約　200秒	6
ステンレス鋼管　50A（スケジュール 10S）	約　100秒	1
ステンレス鋼管　100A（スケジュール 10S）	約　250秒	1

◆鋸刃の取り付け方法

①付属の六角棒スパナ（呼４）で鋸刃が「スライドシャフト」と「ブレード押え」の間に入るまで六角穴付ボルトを緩めて下さい。
②鋸刃の穴を「ブレード押え」の突起部にあわせて六角穴付ボルトをしっかりと締付けて下さい。

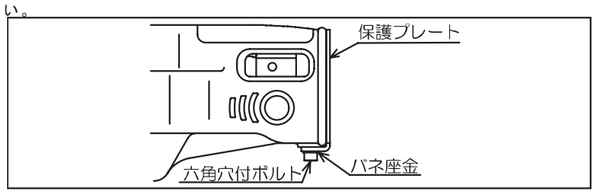
⚠ 注 意

①鋸刃の穴が「ブレード押え」の突起部に確実にあっていることを確認して下さい。確実にあっていないと作業中に鋸刃が抜けるなどして事故やけがをする恐れがあります。

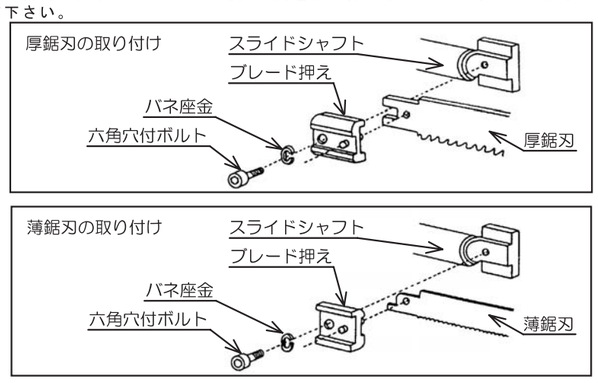
②鋸刃交換時、切断作業前には六角穴付ボルトがしっかりと締付けてあることを確認して下さい。緩みがあると作業中に鋸刃が抜けるなどして事故やけがをする恐れがあります。

●厚鋸刃から薄鋸刃（薄鋸刃から厚鋸刃）への付け替え方法
「ブレード押え」は厚鋸刃と薄鋸刃で取付け面が異なります。厚鋸刃から薄鋸刃（薄鋸刃から厚鋸刃）に付け替える場合は、六角穴付ボルトを抜き取り「ブレード押え」を反転させて下さい。

①「保護プレート」を固定している六角穴付ボルトを抜き取り「保護プレート」を取り外して下さい。



②「ブレード押え」の固定している六角穴付ボルトを抜き取り「ブレード押え」を反転させてから、鋸刃の穴を「ブレード押え」の突起部にあわせて六角穴付ボルトをしっかりと締付けて下さい。

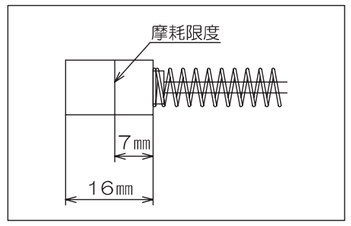


③「保護プレート」を六角穴付ボルトでしっかりと固定して下さい。

■保守・点検

使用前には必ず各部に異常がないか点検を行って下さい。
点検・整備の際には必ずスイッチを切り、差込プラグを電源コンセントから抜いて下さい。
感電や事故やけがをする恐れがあります。
パワーソーが正常に作動しなくなった場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。

●カーボンブラシの交換
パワーソーのモータ部にはカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますとモータの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度（約７㎜）になりましたら新品のカーボンブラシと交換して下さい。



①マイナスドライバなどで「ブラシホルダキャップ」を取り外して下さい。

②ブラシホルダから摩耗したカーボンブラシを取り出して新品と取り換えて下さい。
※カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認して下さい。
※カーボンブラシは弊社純正品をご使用下さい。

③マイナスドライバなどで「ブラシホルダキャップ」を取り付けて下さい。
※カーボンブラシは２個１組となっていますので、必ず左右とも同時に交換して下さい。

■保管

使用しない時は、引火や爆発の恐れのある揮発性物質の置いてある場所などは避けて下記のような場所に保管して下さい。
●子供の手の届かない場所、または鍵のかかる場所
●雨や水のかからない乾燥した場所
●直射日光の当たらない急激な温度変化のない涼しい場所

株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所
☎(059)234-2454
http://www.mcccorp.co.jp

111205

■ はじめに

パワーソー ２００をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、十分理解した上で、正しくご使用下さい。

■安全上のご注意

ご使用になる前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。

この取扱説明書は、パワーソー ２００を安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害と財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項が記載されております。
お読みになった後は、パワーソー ２００（以後、パワーソー）をご使用になる方が、いつでもお読みになれるように、保管しておいて下さい。
わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので内容をよく理解してからお読み下さい。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守り下さい。

⚠ 警 告

①特定の専門業者対象商品『プロ用』です。
●使用方法を十分理解した上でご使用下さい。理解しないままご使用になりますと、事故やけがをする恐れがあります。

②感電に注意して下さい。
●ぬれた手で差込プラグに触れないで下さい。
●パワーソーを使用中は、身体がアースされている物に接触しないようにして下さい。
●雨中、ぬれた場所、湿った場所、パワーソー内部に水が入るような場所での使用はしないで下さい。
湿気は、モータの絶縁性を弱めるなどして、感電事故の原因となります。

③作業場周辺の状況を考慮して下さい。
●作業場は十分明るくして下さい。
暗い場所での作業は事故やけがをする恐れがあります。
●可燃性の液体やガスのある場所では使用しないで下さい。
爆発や火災の恐れがあります。

④保護めがねを着用して下さい。
●作業時には、保護めがねを着用して下さい。また粉じんの多い作業では、防じんマスクを着用して下さい。
切削したものや粉じんが、目や鼻に入る恐れがあります。

⑤次の場合はパワーソーのスイッチを切り、差込プラグを電源コンセントから抜いて下さい。差込プラグを電源コンセントに差し込んだままですと、感電や不意に作動して事故やけがをする恐れがあります。
●使用しない、または部品の交換、修理、点検、清掃をする場合
●作業中にパワーソーを移動する場合
●鋸刃などの付属品を交換する場合
●その他危険が予想される場合

⚠ 警 告

⑥不意な始動は避けて下さい。
●差込プラグを電源コンセントに差し込んだ状態で、パワーソーのスイッチに指をかけて持ち運ばないで下さい。
●差込プラグを電源コンセントに差し込む前には、パワーソーのスイッチストッパが解除されていることを必ず確認して下さい。
パワーソーが不意に作動して、事故やけがをする恐れがあります。

⑦指定の付属品を使用して下さい。
●この取扱説明書に記載している付属品以外は使用しないで下さい。
事故やけがをする恐れがあります。

⑧作業場は、いつもきれいに保って下さい。
●ちらかった場所や作業台は、事故やけがをする恐れがあります。

⑨作業者以外は作業場に近づけないで下さい。
●周囲の安全を確保し、作業者以外は作業場に近づけないで下さい。特に、子供には十分注意をして下さい。
●作業者以外がパワーソーや電源コードに触れたり、操作しないで下さい。
事故やけがをする恐れがあります。

⑩使用しない時は、下記のような場所に保管して下さい。
●子供の手の届かない場所、または鍵のかかる場所
●雨や水のかからない乾燥した場所
●直射日光の当たらない急激な温度変化のない涼しい場所

⑪無理な使用はしないで下さい。
●安全に能率よく作業するために、パワーソーの能力に応じた作業をして下さい。無理な作業はパワーソーの故障の原因だけでなく、事故やけがをする恐れがあります。
●パワーソーのモーターがロックするような無理な使い方はしないで下さい。
発煙、発火の恐れがあります。

⑫使用目的、仕様の範囲で使用して下さい。
●この取扱説明書に記載された使用目的、仕様の範囲以外に使用したり、能力を超えた無理な作業はしないで下さい。
●パワーソーを改造したり、仕様を逸脱することはしないで下さい。
故障原因となるばかりか、事故やけがをする恐れがあります。

⑬安全な服装で作業をして下さい。
●袖口・裾の開いた服、だぶだぶの服、ネックレスなどの装身具は着用しないで下さい。
作動部、回転部に巻き込まれ、事故やけがをする恐れがあります。
●屋外での作業には、ゴム手袋、滑り止めの付いた履物の着用をお勧めします。
滑り易い手袋や履物は、事故やけがをする恐れがあります。
●長い髪は帽子やヘアカバーで覆って下さい。
作動部、回転部に巻き込まれ、事故やけがをする恐れがあります。
●軍手など作動部、回転部に巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないで下さい。

⑭無理のない姿勢で作業して下さい。
●常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにして下さい。
●正しい姿勢で作業ができる安定した足場を必ず確保し、パワーソーや切断する管に必要以上に近づかないようにして無理のない姿勢で作業して下さい。
転倒して事故やけがをする恐れがあります。

⚠ 警 告

⑮電源コードは乱暴に扱わないで下さい。
●電源コードを持ってパワーソーを運んだり、電源コードを引張って電源コンセントから抜かないで下さい。
●電源コードが破損するようなもの(熱源、油、鋭利なもの)に近づけないで下さい。
●電源コードを踏む、引掛けるなど無理な力を加えて破損しないようにして下さい。
感電やショートして発火する恐れがあります。

⑯延長コードは適切なものを使用して下さい。
●キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用して下さい。
●延長コードは電圧降下が起きないように２㎟ 以上で短いものを使用して下さい。

⑰日頃から注意して点検、整備をして下さい。
●安全に能率よく作業するため、常に点検、整備をして正常な状態を保って下さい。
●付属品などの交換は、取扱説明書の指示に従って下さい。
●電源コードは定期的に点検し、破損している場合はお買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。感電やショートして発火する恐れがあります。
●延長コードを使用する場合は定期的に点検し、破損している場合は交換して下さい。
感電やショートして発火する恐れがあります。
●ハンドルなどの握り部は常に清潔な状態を保ち、油やグリースが付着しないようにして下さい。パワーソーの落下などによる事故やけがをする恐れがあります。

⑱十分注意して作業を行って下さい。
●パワーソーを使用する場合は、取扱い方法、周辺の状況など十分に注意して慎重に作業して下さい。軽率な行動をとると事故やけがをする恐れがあります。
●常識を働かせて下さい。非常識な行動をとると事故やけがをする恐れがあります。
●疲労、病気や薬物の影響がある時など作業に集中できない場合は、使用しないで下さい。事故やけがをする恐れがあります。

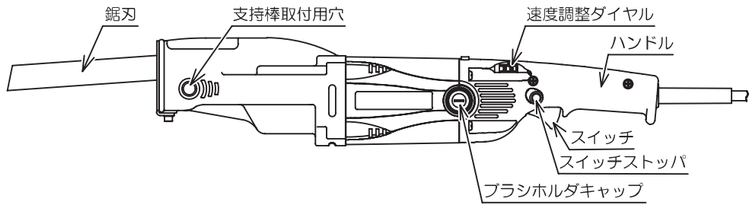
⚠ 注 意

①破損した部品がないか点検をして下さい。
●使用前に、部品に破損がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認して下さい。
●可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認して下さい。
●運転中にパワーソーの調子が悪かったり、異常に気付いた時は、ただちにスイッチを切り、差込プラグを電源コンセントから抜いて下さい。症状を確認の上、お買い求めの販売店にご相談下さい。
●部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従って下さい。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。
●スイッチで始動および停止操作ができない場合は使用しないで、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。異常作動して事故やけがをする恐れがあります。

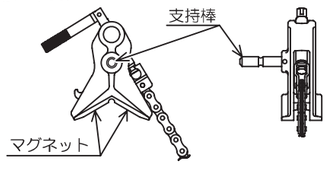
②パワーソーの修理は、販売店に依頼して下さい。
●パワーソーを分解したり、修理・改造は行わないで下さい。
異常作動して事故やけがをする恐れがあります。
●パワーソー本体が異常に熱くなったり、異常に気付いた時は修理を依頼して下さい。
●本商品は、該当する安全規格に適合していますので改造などしないで下さい。
●修理は必ずお買い求めの販売店に依頼して下さい。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しなくなるだけでなく事故やけがをする恐れがあります。

■ 各部の名称

〈本体〉



〈専用バイス〉



■ 標準付属品

●専用バイス　（商品名：ＰＳ用 バイス、品番：PSC2022）
●厚鋸刃　（商品名：ＰＳ用 厚鋸刃 ２００㎜×８山）
●厚鋸刃　（商品名：ＰＳ用 厚鋸刃 ２７０㎜×８山）
●六角棒スパナ（呼び４）
●スチールケース

■別売品

●ハンドル　（商品名：ＰＳ用ハンドルＰＳ１００－Ｈ、品番：PS-06061）
パワーソーを手で持って作業する場合に、安全に作業して頂くため使用して下さい。
パワーソー本体の「支持棒取付用穴」に差し込んでお使い下さい。

■ 仕様

切断能力	切断対象管	最大切断サイズ
	鋼管	～200A（8B）
	ステンレス鋼管	～100A（4B）
	塩ビ管	～200
	耐火二層管	～150
電圧	100V 50／60HZ	
消費電力	1，150 W	
モータ	単相 100V シリースモータ	
ストローク数	600～2，200 SPM	
ストローク量	26 ㎜	
質量（本体）	4．6 kg	
外形寸法（本体）	508 ㎜（長さ）× 109 ㎜（高さ）× 91 ㎜（幅）	

※本商品の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

■ 替刃（鋸刃）　１パック５枚入

品番	商品名	厚さmm	切断対象材	色
PSE0140A	PS用 厚鋸刃 140㎜×8山	1．65	鋼管～50A（2B） 角パイプ・アングル	銀
PSE0200A	PS用 厚鋸刃 200㎜×8山		鋼管～100A（4B） 角パイプ・アングル	
PSE0270A	PS用 厚鋸刃 270㎜×8山		鋼管～150A（6B） 角パイプ・アングル	
PSE1320A	PS用 厚鋸刃 320㎜×8山		鋼管～200A（8B） 角パイプ・アングル	
PSE1140A	PS用 厚鋸刃 140㎜×8山（ステンレス）		鋼管～50A（2B） 角パイプ・アングル ステンレス鋼管※～50A（2B）	黄
PSE1200A	PS用 厚鋸刃 200㎜×8山（ステンレス）		鋼管～100A（4B） 角パイプ・アングル ステンレス鋼管※～100A（4B）	
PSE2200A	PS用 厚鋸刃 200㎜×16山（ステンレス）		鋼管～100A（4B） 角パイプ・アングル ステンレス鋼管※～100A（4B）	
PSEF200A	PS用 薄鋸刃（F）200㎜×14山	0．95	鋼管～100A（4B） 鉄工用	黒
PSEV200A	PS用 薄鋸刃（V）200㎜×9山		塩ビ管～100 木工用	赤
PSEV300A	PS用 薄鋸刃（V）300㎜×9山		塩ビ管～150 木工用	
PSE0320A	PS用 厚鋸刃 320㎜×8山	1．65	塩ビ管～200 耐火二層管～150	

※ステンレス鋼管用鋸刃のうち PSE1140A と PSE1200A は肉厚 2．5 ㎜以上が対象です。
また PSE2200A は肉厚 2．5 ㎜以下が対象となります。

■使用方法

◆作業を始める前に

①正しい服装をして下さい。服の袖、裾などが開いたままになっていないか、安全靴、保安帽、手袋、保護めがね着用など服装の点検を行って下さい。
②整理、整頓、安定姿勢は安全作業の基本です。不安定な場所や、無理な姿勢での作業は能率を損なうだけでなく危険です。安定した足場を確保し、無理のない姿勢で作業できるように、作業場所を整理、整頓して下さい。
③パワーソー各部に破損はないか、各部のボルトに緩みはないか、正常に作動するかを点検し、異常があればお買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。

◆使用上のご注意

⚠ 警 告

①高所作業を行う場合には、安全防護対策を講じて下さい。
●安定した足場などを確保して下さい。
●足場などから身体を乗り出して作業しないで下さい。
●切断した切れ端などが落下しないようにして下さい。
●落下防止のために、安全帯、防護ネットなどの安全防護対策を必ず講じて下さい。

②感電に注意して下さい。
●管を切断する場合には、管内部に残水などがないことを確認して下さい。

③専用バイスのマグネットは磁力の強力なものを使用しているため、心臓ペースメーカーなどの医療用電子機器には近づけないで下さい。
医療用電子機器の正常な作動を損なう恐れがあります。

④切断作業直後の鋸刃や切断した管などには、身体を近づけないで下さい。

⑤切断作業直後の鋸刃や切断面は高温になっていますので触らないで下さい。

⑥使用しない場合には、鋸刃をパワーソー本体から外しておいて下さい。
パワーソーが不意に作動した場合、事故やけがをする恐れがあります。

⑦無理な使用はしないで下さい。
●切り始めと切り終わりは、ゆっくり丁寧に切断して下さい。
●無理な切り込みは、鋸刃が折れたり、モータが発煙・発火などする恐れがあります。
●連続して多数の切断するなど、過酷な使用はしないで下さい。
無理な使用は故障の原因だけでなく、事故やけがをする恐れがあります。

⑧長時間の連続使用はしないで下さい。
●作業にはゆとりをもたせて下さい。長時間の連続使用で疲労が重なると注意力が低下し、事故やけがをする恐れがあります。
●振動障害防止のため１日の作業時間は、厚生労働省通達（チェーンソー以外の振動工具の取扱い業務に係る振動障害予防対策指針）による時間（７頁）をお守り下さい。
身体に振動障害が残る恐れがあります。

⑨電源コードを鋸刃で傷つけないように注意して下さい。
感電やショートして発火する恐れがあります。

⑩スイッチストッパを使用するとスイッチから指を離しても連続運転になりますので、スイッチストッパを使用する際は十分に注意して下さい。

⑪鋸刃の取り付けは、緩みのないように確実に行って下さい。
緩みがあると作業中に鋸刃が抜けるなどして事故やけがをする恐れがあります。